

検討部会概要

1. 中城御殿エリア検討部会について
2. 龍潭周辺整備検討部会について

1. 中城御殿エリア検討部会について

- 中城御殿エリアのうち、主に外構及びバリアフリー対策、展示設計及び管理体制等に関する内容を議論する。

中城御殿跡地整備検討委員会

中城御殿エリア検討部会

検討テーマ①外構及びバリアフリー対策
 【部会メンバー（案）】
 安里進委員（外構・石積整備）
 山城一美委員（バリアフリー対策）

検討テーマ②展示設計
 【部会メンバー（案）】
 與那嶺一子委員（展示、管理体制）
 早川泰弘委員（展示、管理体制）

※展示設計等に関する検討部会の設置是那覇市との調整により今後決定

部会構成員は、検討テーマにあわせた委員、専門家をアドバイザーとして招聘。関係部局を含めて構成。

分類	専門	名前	所属	主な検討テーマ
委員	考古、漆芸史	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授	外構、石積整備
	景観、建築	山城 一美	(公社)沖縄県建築士会副会長	外構のバリアフリー対策
	保存科学	早川 泰弘	東京文化財研究所 特任研究員	展示設計、管理体制
	工芸（染織）	與那嶺一子	琉球大学 非常勤講師	展示設計、管理体制
専門家 アドバイザー		今後調整		
		今後調整		
関係部局・ オブザーバー	沖縄県関係	土木建築部参事、都市公園課、文化財課、 県立博物館・美術館、沖縄美ら島財団		
	那覇市関係	文化財課		
	国関係	沖縄総合事務局、文化庁		

2. 龍潭周辺整備検討部会について

- 龍潭周辺整備のうち、主に世持橋高欄の設計、松崎馬場伐採・植栽工事、龍潭西岸バリアフリー園路設計に関する内容を議論する。
- 世持橋高欄の設計については、波多野泉アドバイザーを部会に招聘する他、監修アドバイザーとして西村貞雄氏に下絵・石膏原型製作に助言をいただく。

中城御殿跡地整備検討委員会

龍潭周辺景観検討部会 【部会メンバー】

安里進委員（考古）、池田孝之委員（計画）、伊良波朝義委員（景観）
波多野泉アドバイザー（彫刻）※世持橋高欄設計

検討テーマ①世持橋高欄設計

高欄再現方針、意匠・素材検討、設計

検討テーマ③龍潭西岸バリアフリー園路設計

ルート設計

検討テーマ②松崎馬場伐採・植栽工事

伐採植栽の検討

部会構成員は、検討テーマにあわせた委員、専門家をアドバイザーとして招聘。関係部局を含めて構成。

分類	専門	名前	所属	主な検討テーマ
委員	考古、漆芸史	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授	部会全般
	都市計画	池田 孝之	琉球大学 名誉教授	部会全般
	地域、建築	伊良波 朝義	NPO法人首里まちづくり研究会理事長 (公社)日本建築家協会沖縄支部 支部長	部会全般
専門家アドバイザー	彫刻	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長	世持橋高欄設計
監修アドバイザー	彫刻	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授	(世持橋高欄設計、下絵・石膏原型製作)
製作担当者	彫刻	砂川 泰彦	沖縄県立芸術大学 教授	
関係部局・オブザーバー	沖縄県関係	土木建築部参事、都市公園課、南部土木事務所、文化財課、 県立博物館・美術館、沖縄美ら島財団		検討テーマに応じて対応
	那覇市関係	文化財課		検討テーマに応じて対応

2-①.世持橋高欄設計 事業概要

【事業内容】 龍潭周辺整備の一環となる世持橋高欄の整備のための設計を行う。

また、検討部会において高欄再現の方向性・意匠および素材の検討を行う。

【事業期間】 設計業務：令和6年9月6日～令和7年1月31日

【事業主体】 沖縄県首里城復興課（設計業務受託者：（株）国建）



写真 世持橋（戦前撮影、那覇市歴史博物館提供）

2-③.松崎馬場植栽工事 事業概要

【目的】首里城復興基本計画に基づく歴史まちづくりの推進のため松崎馬場の整備を行う

【工事期間】伐採・植栽：令和6年度～7年度 園路整備：令和7年度～令和8年度

【事業主体】沖縄県 首里城復興課・南部土木事務所 街路公園班



松崎馬場跡の整備方針

- 令和8年度までに松崎馬場跡の空間を整備する。
- 宿道上の遺構の活用方針は中長期的な視野で検討するため、遺構の真上を避けた位置に園路を整備する。

園路

- 令和8年度までの供用開始に向け、中城御殿と首里城公園中心部を結ぶ、来園者や管理車両等の通行機能を有した園路として整備する。
- 園路は、師範学校時代の石垣や芸大石積を迂回したルートとする。
- 園路整備にあたっては、宿道（松崎馬場）の歴史的風致景観や世持橋からの景観に留意する。
- 園路沿いで転落のおそれのある箇所には、安全対策を講ずるものとする。
- 芸大駐車場沿いに築山・植栽帯を設け、芸大側の境界には芸大駐車場からの雨水排水を受ける側溝を設ける。



広場

- 利用者の休憩や、歴史学習への活用を想定して、広場を設ける。
- 広場は、国学・首里聖廟石垣前、松崎（龍潭突出箇所）付近、園路中間付近に配置する。
- 広場の整備にあたっては、周辺施設の景観や遺構に留意するとともに、広場の機能を考慮した整備を行う。

植栽計画

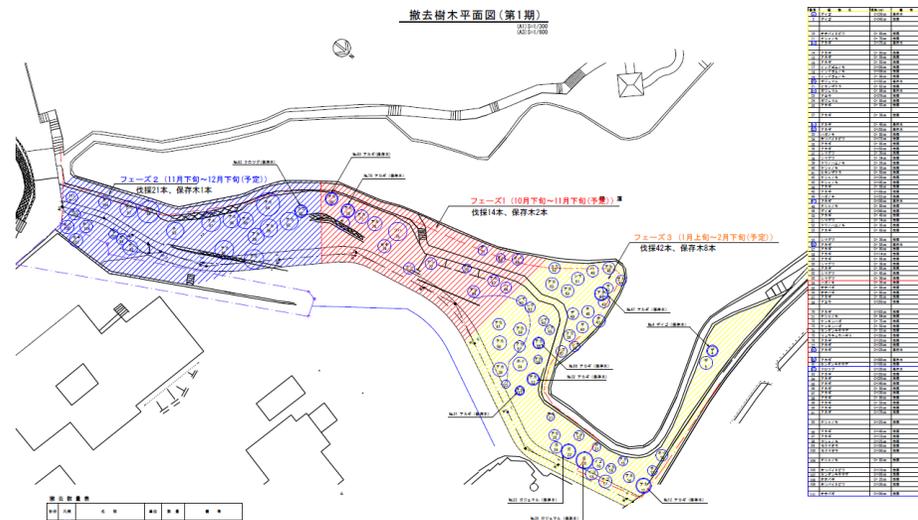
- 古写真などを参考に、リュウキュウマツの植えられた松崎の歴史的風致景観を再現する。
- 園路から龍潭の水面への眺望を確保するため、生育が安定し緑量感のある樹木を存置し、残る樹木は段階的に撤去する。
- リュウキュウマツは成木を段階的に植栽する。また、要所に低木や草本を植栽し、園地景観の向上を図る。
- 植栽したリュウキュウマツの樹姿の見栄えが良かった段階で、存置木を伐採処分する。段階的に撤去を行う際に、存置木の撤去後は緑の量感が減少することから、その都度、リュウキュウマツを補植する。



2-③.松崎馬場伐採・植栽工事 事業概要

・ 樹木の伐採計画について

スケジュール	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
フェーズ1						
フェーズ2						
フェーズ3						
部会		●	●	●		
委員会	★				★	



現地確認のイメージ (案)

- ①全範囲の50%と80%伐採後と伐採完了後の計3回
- ②各フェーズ毎の75%時点と全体伐採完了後の計4回

